

農地法の許可申請受付メ切日は毎月 10 日です。

潮来農委だより

第 62 号

発行者 潮来市農業委員会
 編集者 広報委員会
 TEL 63-1111
 内線 271・272

▶ 作業風景



耕作放棄地解消事業

潮来市農業委員会では、今年の五月に、大生原地区の耕作放棄地二十aを借り受けて、農地の再生を目指し、耕作放棄地解消事業への取り組みを始めました。(四頁関連)

◀ 解消後



主な内容

- ◇会長あいさつ、新農業委員紹介……………P.2
- ◇平成25年度の目標及びその達成に向けた活動計画、議案審査状況……………P.3
- ◇耕作放棄地解消事業、農業委員会視察研修会……………P.4
- ◇普及センターからのお知らせ、総会日程、無断転用について……………P.5
- ◇農業委員会活動報告、編集後記……………P.6

TPPに想う



潮来市農業委員会会長
辻 慶 壽

稲穂が茂るがごとく、農家の皆様が更にご発展されますよう、心よりお祈り申し上げます。平素におきましては、いつも一方ならぬお力添えにあずかり、誠にありがとうございます。

今夏も潮来市内において、五穀豊穣を祈願する神事・祭礼等が、多くの地区で執り行われております。「社稷」という言葉があります。古代中国で、天子や諸侯が祭った土地の神(社)と五穀の神(稷)の意とされ、農業は古代より人々の生活に密接なものであったと思われまます。現在、日本の農業はTPP（環太平洋戦略的経済連携協定）問題に大きく揺れております。平成二十五年二月、アベノミクスを押し進める安倍首相は「聖域なき関税撤廃が前提でないことが明確になった」として、事実上のTPP参加を表明しました。翌月三月には、TPP交渉への参加を正式表明し、これからの交渉に日本全国民の関心が集まっています。

関税の撤廃により、米国などから安い農作物（特に米）が流入し、日本の農業に大きなダメージを与えられると言われ、また食品添加物・遺伝子組み換え食品・残留農薬などの規制緩和により、食の安全が脅かされる危険を含んでいると危惧されております。

今後も、我々農業委員は、郷土のかけがえのない農地を守り、生かし、次代に引き継いでいくため、委員一丸となり、より一層の議論を行ってまいります。

結びに、今後も農家の皆様方からの、より一層のご指導・ご鞭撻を願ひ申し上げ、挨拶いたします。

潮来市農業委員名簿

番号	氏 名	担 当 地 区
1	大 川 茂 衛	水原3区・釜谷
2	齋 藤 隆 夫	西・東・小泉
3	高 田 秀 子	須賀・曲松
4	橋 本 きくい	日の出
5	高 橋 慶 治	大洲・辻・江寺・貝塚
6	額 賀 勝 男	徳島・福島・米島
7	箕 輪 良 夫	大生・大賀
8	小 澤 新	水原2区
9	吉 川 吉之助	永山・牛堀
10	大 崎 侯	清水
11	仲 田 孝	宿・古宿・赤須
12	小 沼 徂 伸	水原1区
13	鴫 田 学	潮来
14	大久保 高明	十番・十四番
15	森 内 泰 男	堀之内
16	大 川 尚 昱	築地
17	榊 原 昭 男	新宮・古高
18	森 内 和 夫	茂木
19	草 野 登美雄	下田・宮前
20	久保庭 武彦	洲崎・前川
21	辻 慶 壽	上戸

新農業委員紹介

- ①住 所
- ②担当地区
- ③所属部会・役職
- ④所属委員会・役職
- ⑤任 期



14 大久保 高明

- ①潮来 73
- ②十番・十四番
- ③農政部会
- ④広報委員会
- ⑤(潮来市議会・官選) 2 期

《農業委員就任にあたっての抱負》

混迷する世相の中で、原点に顧り、基幹産業である農政を擁護し、農業者の生活の向上と、食の安全安心の提供できる環境育成に努めたい。

「芋づる」注意!!

道路に「芋づる」が伸びている場所が、潮来市内でも見受けられ、通行に支障をきたしていると市民の方からの連絡がありました。土地の所有者・耕作者の皆さんは、十分注意してください。

また、そのような場所を見つけた場合は、お近くの農業委員までご連絡ください。

耕作放棄地解消事業に取り組んで

農政部長 久保庭 武彦

農業従事者の高齢化、後継者不足等により、全国的に耕作放棄地が問題となっており、潮来市においても例外ではなく、年々増加している現状です。

そうした中、4月に開催した農政委員会において、耕作放棄地の解消について協議を行い、その後、全員協議会で決定をし、モデル的に耕作放棄地解消事業に取り組みこととなりました。場所は大生原地区で、平坦で道路に接した畑20aを、所有者から借り受けました。

圃場を見た時、篠竹・雑木等が生茂り、全て解消するには大変であるというので、まずは出来る所まで実施することとしました。

五月十二日に農業委員全員と事務局職員で篠竹・雑木の伐採を行い、翌週十九日に、油圧式シャベルで伐根・整地をし



て、約10a解消出来ました。その後、トラクターで耕起等をして、認定農業者の方にマルチ張り等を協力していただき、六月二十日には、さつまいもの苗を植えることが出来ました。今後は、さつまいもの栽培管理を行いながら、秋には、市内の小學生に「いも掘り体験」してもらうことを計画しています。今回、耕作放棄地解消事業に取り組んで、一度荒廃した農地を元に戻すのは、大変な労力と資金がかかることを実感いたしました。これから、残り10aについても解消作業を進め、少しでも耕作放棄地の解消ができれば良いと考えます。

農業委員会視察研修会に参加して

農地部会 大川 茂衛

六月二十五日から二十六日にかけて、潮来市農業委員会視察研修会を行いました。研修先は、群馬県伊勢崎市にある「群馬県農業技術センター」です。水稲主体の潮来の農業で、何か新しい農作物に取り組めないかと考えた時、果樹栽培について勉強してみようかという意見が出ました。それで今回、果樹栽培について先進的な取り組みを行っている同所に研修をお願いした次第です。群馬県伊勢崎市地域は二毛作地帯で、研修で訪れた時、麦の収穫は終盤を迎えていました。

今回の研修先「群馬県農業技術センター」では、イチゴ、トマト、果樹栽培について取り組んでおり、担当職員の方から、それぞれの概要説明を受けました。イチゴは群馬県で開発した「やよいひめ」の交配から誕生まで、栽培の長所・短所や、その問題点について説明を受けました。潮来市でも「やよいひめ」を栽培している農家の方がいるので、自然と質疑にも力が入りました。トマトは、高糖度トマトの省力生産安定技術の開発、防根透水シート埋設機を用いた高糖度トマトの省力生産技術の開発について、ハウス圃場の現場で説明を受けました。埋設機について尋ねると「群馬県で改良をしています。」とのことでした。

果樹類については、梨・ぶどうについて説明を受けました。梨は、剪定・接木などについて。ぶどうは、剪定から果実摘果、ジベリン処理の仕方、袋架け、栽培上の長所、短所や問題点などのお話を聴きました。潮来市でも、ハウスでぶどう栽培をしている農家の方について、農業委員の中にも実際に栽培している委員もいます。大変興味深いお話が聞けました。また、同所には潮来市出身の方がいて、思わぬ出会いに、委員一同、とても驚きました。

将来の潮来の農業を考えた場合、高齢化や後継者不足で、益々農家離れが進み、耕作放棄地の増加が心配されます。今回聞くことが出来た貴重なお話を参考にしながら、潮来の農業の活性化に少しでもつなげていきたいと思えます。農業委員会としても、今以上に活動してまいります。



農業改良普及センターからのお知らせ

水稻出穂期～収穫期の管理について

本年も、水稻栽培の後半を迎えます。出穂期～収穫期の管理は、収量・品質に影響が大きいので、注意が必要で

1 斑点米カメムシ類対策 (防除と調整)

カメムシ類は、イネ科の穂を加害して「斑点米」を発生させます。カメムシ類は、水稻の出穂と同時に水田に進入して、穂を加害します。主に乳熟期の加害が、「斑点米」発生の中心となります。

カメムシ類の防除は、活動が活発な、気温が低い時間帯（早朝夕方）が効果的です。防除に使用する農薬は、安全使用基準により、使用可能な収穫前日数が厳しく制限されています。使用の際には、ラベルをよく読んで、農薬残留事故が無いようにしましょう。

カメムシ類による「斑点米」粒は、



乳熟期：籾を潰すと、中が固まっておらず、乳液状である時期



カメムシ類による斑点米



近年、発生が増加している アカスジカスミカメ(体長5mm程度)

本年は、収穫期が高温・多照で経

2 後期水管理

あきたこまちは、出穂後25日まで、コシヒカリは出穂後30日まで間断かん水を行って下さい。早期落水は、根の活性を低下させ、収量・品質低下の要因になります。適正な水管理は、根の活力を成熟まで維持し、登熟歩合を向上させ、健全な登熟を促進します。

また、早期落水は、「胴割れ粒」の発生を助長します。「同割れ粒」は、炊飯時に割れ、中身が流れ出て、粘りが低下し、べたつく食感となり、食味を著しく低下します。

3 収穫適期

「青味もみ」率10%から収穫を厳守してください。あきたこまちで、出穂後約35日、コシヒカリで40日後が目安です。早刈りは、「青味もみ」が多くなり、品質の低下を招き、さらに収量も低下します。刈り遅れは、「胴割れ粒」の発生を助長します。

4 調製

(1) 水分14.5～15.0%調整を厳守
本県産米は、過乾燥が指摘されています。仕上がり玄米水分を13.5%前後の低水分にすると、「胴割れ粒」発生率がより高まります。

(2) 倒伏水稻収穫・調整

倒伏圃場では青米、茶米、死米、石の混入等が多いので、調製を十分に行ってください。

また、成熟や籾水分が不揃いで、多くは高水分籾です。すぐに高温乾燥をせずに、通風のみを行い、全体の籾水分格差を低下させてから、乾燥を行ってください。

高水分籾の乾燥にあたっては、高温による急激な乾燥を避け、乾燥温度40度以下、適正な毎時乾減率(1時間当たり0.5%)を維持してください。

この記事に関するお問い合わせ

茨城県行方地域

農業改良普及センター

TEL 72-0256

カメムシ防除の補助金について

補助単価： 1,000円 / 10a (上限)

補助対象者： ①潮来市に住民登録がある農業者 ②生産調整達成者

申請方法など、詳しくは下記までお問い合わせください。

■潮来市農政課 (TEL 63-1111、内線 264・265)

農地の無断転用

許可を受けずに農地を転用した場合、農地法に違反することとなります。

農地法第4条・第5条に違反し、無断転用をした者は、3年以下の懲役又は300万以下の罰金に処することとされています(農地法第64条)。

農地を農地以外にするときは、農業委員会へご相談ください。

農業委員会総会日程

農地法の許可申請等は、毎月次の日程で行われています。

締切日	毎月10日
農地農政相談日	随時
現地調査日	毎月18日
総会日	毎月25日

※土曜・日曜・祭日等と重なるときは、変更になります。

農業委員会活動報告 (前期分)

1月4日	選挙人名簿受付 (4日~10日)	4月11日	農政部会
5日	新春賀詞交歓会	16日	県農業会議臨時総会、会長・局長研 修会 (水戸市)
13日	農業委員会委員選挙告示日	18日	役員会・農地部会
17日	鹿行地区農業委員会及び関係機関に よる農政会議 (行方市)	19日	農業委員会行方地域協議会定期総会 (行方市)
20日	農業委員会委員選挙投票日	25日	4月定例総会
21日	農地部会	5月12日	あやめ園整備事業
24日	1月定例総会・選挙人名簿審査	16日	耕作放棄地解消事業 (草刈・倒木) (16日~17日)
31日	選挙人名簿を市選挙管理委員会へ送 付	18日	水郷潮来あやめまつり大会開会式
2月1日	行方地域農業改革フォーラム (レイクエコー)	19日	耕作放棄地解消事業 (抜根・整地) 農地部会
4日	新任農業委員辞令交付式 (選任委員) 臨時総会・新任農業委員研修会	20日	5月定例総会
8日	農地と担い手を守り活かす運動推進 大会 (小美玉市)	25日	潮来市認定農業者連絡協議会総会
13日	認定農業者経営相談会	29日	全国農業委員会会長大会 (東京都)
14日	農政部会	30日	農業委員会行方地域協議会理事會
15日	市農業委員会会長・事務局長研修会 (水戸市)	6月14日	潮来市農業再生協議会総会
18日	農地部会	18日	農地部会・広報委員会
20日	潮来市大規模稲作研究会総会	20日	耕作放棄地解消事業 (いも苗植え)
21日	農作業標準賃金協議会	24日	霞ヶ浦北浦治水利水環境促進同盟会 通常総会 (行方市)
26日	2月定例総会・農政部会・広報委員会	25日	6月定例総会
27日	買ってもらう米づくり研修会 (潮来ホテル)	7月4日	行方地域農業振興協議会定例総会 (25日・26日)
8日	女性農業委員活動推進シンポジウム (東京都)	5日	茨城農業改革推進大会 (水戸市)
18日	県農業会議定例総会・県農政活動推 進本部代議員総会 (水戸市)	9日	常陸川水流調整対策協議会 (神栖市)
19日	農地部会	11日	農業委員会行方地域協議会研修会 (神奈川県) (11日~12日)
25日	3月定例総会・農地部会・役員会	18日	農地部会・広報委員会
27日	農業委員会行方地域協議会理事會	25日	7月定例総会・農業者年金研修会
		31日	いばらき女性農業委員の会定例総会

農業者年金

購読者のための公的な積立年金！

「農業者年金」でしっかり積立！
安心して豊かな老後を！

- ①国民年金の第1号被保険者で
- ②年間60日以上農業に従事する
- ③60歳未満の方なら、どなたでも加入できます！！

お問い合わせは、農業委員会へどうぞ
(☎ 63-1111、内線 271・272)

全国農業新聞

農業情報が満載！

「全国農業新聞」で一步進んだ
農業経営と豊かな家庭を！

発行日/毎週金曜日 購読料/月 600円

お申し込みは、農業委員会へどうぞ

(☎ 63-1111、内線 271・272)

編集後記

昨年に引き続き今年も異常気象とな
り、猛暑と雨不足の日々が続き、何か
と農作業や作物管理等に御苦労されて
いることと存じます。

また、農業従事者の高齢化や遊休農
地の増加、TPP交渉参加等、農業を
取り巻く環境の変化とともに、多くの
課題が山積しております。

これからの農業に、若い人達が進ん
で就農できるような社会や環境の整備
と、明るく希望に満ちた農業政策を期
待したいと存じます。

これからも皆様のご意見等をお聞き
しながら、農業委員会活動の充実と、
努めてまいります。

暑い日が続いています。水分の補給
には気を配るなど、農作業中の事故防
止には十分にお気をつけください。

小澤 新

◆ 広報委員会 ◆

- 委員長 吉川 吉之助
- 副委員長 橋本 きくい
- 委員 高田 秀子
- 委員 高橋 慶治
- 委員 高輪 良夫
- 委員 小澤 新
- 委員 大崎 侯
- 委員 大久保 高
- 委員 榊原 昭男
- 委員 久保庭 武彦